



村上 敦 さん (58)
幸 子 さん (58)
＝胆沢区南都田字糍谷田＝

雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

「20代と30代の頃は、マラソンや駅伝大会に年間30回以上は参加していた」と話す長距離ランナーの敦さんと幸子さんの夫婦です。二人の出会い、同じ会社の陸上クラブチーム。ほぼ毎週のようにマラソン大会などに参加し、一緒に過ごす時間も多かったと言います。平成6年11月に結婚、人生を共に走り出します。

結婚する前の年、敦さんが一関国際ハーフマラソン大会に出場したとき、抽選でハワイのホノルルマラソンの招待切符が当選。ホノルルを走った敦さんは、新婚旅行もハワイと決め、二人でホノルルマラソンにも参加しました。「写真撮影をしながら一緒に走ってくれたことがうれしく、楽しかった」と思い出を話す幸子さんです。

3人の子どもに恵まれ、野球や陸上で子どもたちの追っかけをしていたことを二人は楽しそうに語ります。

幸子さんは、10年程前に膝を痛め、しばらくマラソン大会への参加が遠ざかっていましたが、3年前から再び走り始めました。二人で考えた「時差スタート」で一一緒にトレーニング、敦さんが幸子さんを追いかけます。

5月のきらめきマラソンに敦さんはフル、幸子さんは10キロにエントリー。完走を目指し、今日も二人で走ります。

夢トーク

将来の夢は「フロントマネージャー」



及川 聖奈 さん
(江刺区・藤里小学校6年)

Interview

——学校での役割は？

計画委員長です。全校児童が楽しめるレクリエーションなどを企画しています。2月は「豆まき集会」を企画しました。

——小学校生活の思い出は？

修学旅行で仙台と松島に行ったことです。友達といろんなことを学習できて楽しかったです。

——好きな教科は？

算数と体育です。運動することが好きで、陸上クラブに入っています。昨年5月のきらめきマラソンでも走りました。ことも出場したいです。

——中学校へ進学したら、やってみたいことはありますか？

勉強も部活動も頑張りたいです。テレビで見た卓球の試合がすごいと思ったので、部活動は卓球部に入りたいです。

——将来の夢を教えてください。

ホテルのフロントマネージャーです。家族旅行でホテルに泊まったときのフロントマネージャーに憧れました。お客さんに喜んでもらえるサービスを自分で考えてみたいです。人との関わりを大切にして、英語の勉強も頑張ります。

青春讃歌

女子バスケットボール部 (江刺第一中学校)



- ◎部員数 17人
- ◎顧問 高橋 恵 先生
- ◎顧問 千田 敏文 先生
- ◎主将 小澤 楓夏 さん(2年)
- ◎部長 及川 紗那 さん(2年)

目標は胆江地区中総体で優勝！

2年生6人、1年生11人の17人で活動する江刺第一中学校バスケットボール部。昨年9月に行われた胆江地区新人大会では3位に入賞しました。

堅いディフェンスから速攻につなげるスタイルで、走って勝つバスケットを目指す部員たち。一人一人の個性が強く、時には意見がぶつかることもありますが、試合には部員全員が「勝ちたい」という気持ちで心を一にして臨んでいます。

「新人大会では、大きなリードをしたところで油断し、逆転されてしまった。最後まで集中力を維持できるように頑張りたい」と話す主将の小澤楓夏さん。流れが悪くなったときに、弱気なプレーからミスが出てしまい、競り負けてしまったことを反省。限られた練習時間の中で、自分がプレーしていない

ときもドリブル練習やシュートフォームの確認などをして、時間の有効活用と練習への集中を常に意識します。

顧問の高橋先生は「自分たちの良さを発揮してうまくってほしい。勝てばいいというものではなく、チームが目指しているバスケットができれば」と期待を寄せます。

「最後の試合となる中総体。部員全員が全力を出し切って頑張りたい」と話す部長の及川紗那さん。1、2年生全員で声を出して盛り上げて、胆江地区中総体優勝を目指します。



ゴール下でのシュート練習をする部員たち

おうしゅう 羅針盤



まだまだ寒さが厳しいですが、いかがお過ごしですか。

衣川総合支所の新庁舎開庁式を行いました。東日本震災から7年、地区要望であった移転新築がかない、うれしく思います。新庁舎は行政機能が集約され、災害拠点となる機能も強化されました。また、衣川産の杉材をふんだんに使った市民交流サロンがあり、使いやすくなっていますので、ぜひご利用ください。

に創り上げてまいります。日本一泣ける本市の成人式に出席しました。恒例の「家族からの手紙」では、思い出の写真がスクリーンに映し出され、新成人に向けた家族からの真心のこもった手紙が朗読されました。新成人には、自らの夢の実現に向け、諦めずに挑戦し続けてほしいと切に願います。

市民新年交賀会が開催され、参加された多くの市民と共に新たな年の幕開けを祝いました。その席上で、市勢功労者に選ばれた8人と地域振興功労者6人の功績をたたえました。ことしは自治区がその役割を終え、新しい奥州市として飛躍する大切な年です。互いに認め補い合いながら、ひかり輝く奥州市を皆さんと共に

中高生のサークル「水沢ジュニアリーダーズクラブJUMP」が、未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤーの内閣府特命担当大臣表彰を受賞、県立産業技術短期大学校水沢校の下村信人さんと菅原楓さんが技能五輪全国大会の配管職種で敢闘賞を受賞されました。これからも努力と研さんを積み、更なる活躍を期待します。

奥州市長 小沢昌記